

基本事業14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当：健康増進課)

主な取組内容

1. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査を実施します。
2. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 エイズ対策促進事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しました。

(1) エイズ地域特別対策事業

① AIDS予防・HIV検査啓発

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成28年10月11日 10:30～12:30	桑名シティホテル 5階宴会場	保健所職員 2名	啓発ティッシュ・啓発物品等100個配布と AIDS予防・HIV検査啓発パネル展示 パンフレットの配布

② AIDS予防・HIV検査啓発

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成28年 6月 5日 10:00～14:00	菟野町保健福祉 センター けやきホール	保健所職員 1名	啓発ティッシュ・啓発物品等80個配布と AIDS予防・HIV検査啓発パネル展示 HIV/AIDSクイズの実施

③ 「世界エイズデー」街頭キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成28年12月 1日 7:40～ 8:20	桑名駅東口 ロータリー周辺	保健所職員 5名	啓発ティッシュ800個配布

④ エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成28年 8月 5日 14:00～15:30 桑名庁舎 第1会議室	学校関係者 保健医療関係者等	20名	講演 「HIV陽性者からのメッセージ ～養護の先生に伝えたいこと～」 講師 HIV陽性者ネットワーク ジャンププラス HIV陽性スピーカー 健吾&健二 氏

(2) エイズ相談・検査実施日時（平成28年度）

毎週火曜日 午後1時～午後2時30分

① HIV抗体検査、電話・面接相談者数

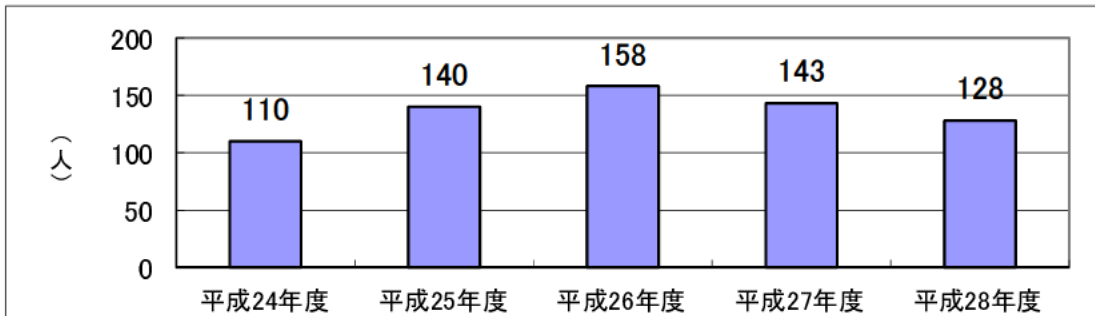
	男	女	計
電話・面接による相談件数	7	1	8
HIV抗体検査件数	80	48	128



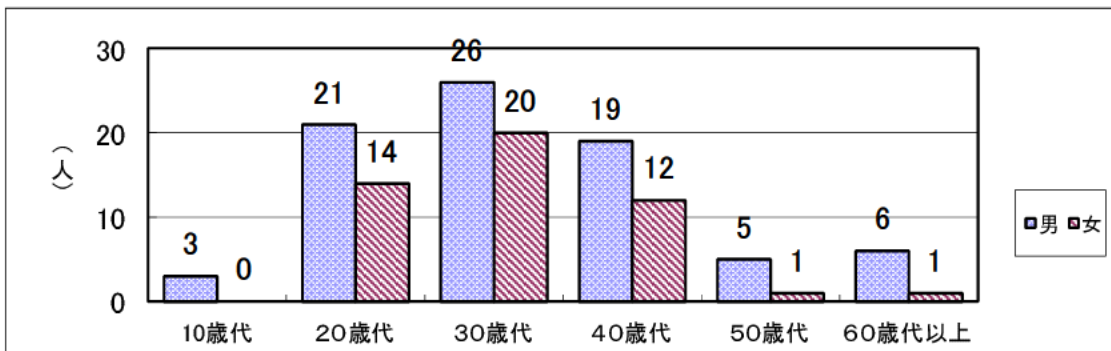
(レッドリボン)

② HIV抗体検査件数の推移

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
検査件数	110	140	158	143	128



③ HIV抗体検査年代別件数



(3) 特定感染症検査件数（平成28年度）

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づき、梅毒、B型・C型肝炎検査を希望の方に対し、相談や検査を実施しました。

	男	女	計
梅毒	80	48	128
B型肝炎	82	49	131
C型肝炎	80	47	127

(4) 感染症に関する予防啓発

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成28年 1月20日 10:30~11:30 大井田農業集落センター	大安町大井田老人 クラブ	99名	「感染症の発生状況と予防方法」について 桑名保健所 健康増進課
平成28年10月24日・25日 菰野町立小中学校 平成28年11月2日 菰野町庁舎	菰野町 教育委員会関係者 学校教職員	101名	「感染症（結核）について」 桑名保健所 健康増進課
平成29年 3月 2日 10:00~10:30 椿トランステック協同組合	技能実習生	4名	「健康管理（結核）について」 桑名保健所 健康増進課

(5) 肝炎ウイルス検査医療機関委託事業

	計
B型肝炎	13
C型肝炎	13

2 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

3 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられました。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図りました。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めました。

ア 新登録患者数（活動性分類、性別、年齢階級別）

平成28年1月1日～平成28年12月31日

病型別 年齢区分	計			活動性結核												(別掲) 潜在性 結核感染症		
				肺結核活動性									肺外結核					
				喀痰塗抹 陽性			その他 結核菌陽性			菌陰性・ その他			活動性					
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計	56	28	28	18	12	6	13	6	7	7	4	3	18	6	12	13	5	8
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29	6	3	3	1	1	-	4	1	3	1	1	-	-	-	-	2	1	1
30～39	5	3	2	1	1	-	1	1	-	2	-	2	1	1	-	3	1	2
40～49	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1
50～59	3	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	2	1	1
60～69	4	1	3	-	-	-	1	-	1	2	1	1	1	-	1	2	-	2
70～	35	17	18	13	8	5	7	4	3	2	2	-	13	3	10	1	1	-

イ 年末現在登録者数（活動性分類、受療状況別）

平成28年12月31日現在

病型別 区分	計			活動性結核						不活動性 結核	活動性 不明
				肺結核活動性				肺外結核 活動性			
				計	喀痰塗抹 陽性	その他 結核菌陽性	菌陰性、 その他				
計	107	28	13	11	4	13	64	2			
入院中	10	6	4	1	1	4	-	-			
外来治療中	31	22	9	10	3	9	-	-			
治療なし	66	-	-	-	-	-	64	2			
不明	-	-	-	-	-	-	-	-			

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成28年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性	活動性結核の有病率				
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他		27年			28年	
管内 計	107	13	11	4	13	64	2	9.2	14.5	
桑名市	67	8	5	2	9	41	2	12.1	17.1	
いなべ市	18	3	2	-	3	10	-	6.5	17.5	
木曾岬町	2	-	-	-	-	2	-	15.7	-	
東員町	7	-	1	2	-	4	-	7.9	11.9	
菰野町	6	1	1	-	-	4	-	5.0	5.0	
朝日町	2	-	-	-	-	2	-	-	-	
川越町	5	1	2	-	1	1	-	6.8	27.0	

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲)潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内 計	56	38	18	13	7	18	19.7	13
桑名市	34	23	12	7	4	11	24.2	9
いなべ市	12	7	5	2	-	5	26.3	2
木曾岬町	1	1	-	1	-	-	15.8	1
東員町	3	3	-	1	2	-	11.9	-
菰野町	1	1	-	1	-	-	2.5	1
朝日町	1	1	-	-	1	-	9.3	-
川越町	4	2	1	1	-	2	27.0	-

(2) 結核検診実施状況

平成28年度

対象別	項目	予防接種				胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	IGRA検査	結核患者発見者数	(別掲)潜在性結核感染症発見者数
		対象者数	ツ反応検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数	受診者数				
定期	計	2,443	-	-	2,331	83,269	26,916	9	-	1	-
	事業者	-	-	-	-	9,548	9,335	2	-	-	-
	学校長	-	-	-	-	2,325	2,323	-	-	-	-
	施設の長	-	-	-	-	961	876	2	-	-	-
	市町長	2,443	-	-	2,331	70,435	14,382	5	-	1	-
定期外	計	/	2(2)	-	-	/	121(2)	-	199(21)	-	1
	接触者	/	/	-	-	/	39	-	153(14)	-	-
	患者家族	/	2(2)	-	-	/	63(2)	-	46(7)	-	1
	患者管理	/	-	-	-	/	19	-	-	-	-

() 内の数字は医療機関委託分(再掲)

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成28年度

項目 市町別	住民健診 対象者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C)/(B) %	胸部エックス線撮影				結核 患者 発見 数 (G)	(G)/(D) %
					受診人員			(D)/(A) %		
					間接撮影数	直接撮影数	計 (D)			
計	70,435	2,443	2,331	95.4%	10,479	3,903	14,382	20.4%	-	-
桑名市	35,533	1,161	1,161	100.0%	5,047	231	5,278	14.9%	-	-
いなべ市	11,730	368	349	94.8%	2,995	870	3,865	32.9%	-	-
木曾岬町	1,879	40	39	97.5%	269	71	340	18.1%	-	-
東員町	6,971	235	173	73.6%	-	2,220	2,220	31.8%	-	-
菰野町	10,307	360	337	93.6%	1,826	-	1,826	17.7%	-	-
朝日町	1,999	112	105	93.8%	342	-	342	17.1%	-	-
川越町	2,016	167	167	100.0%	-	511	511	25.3%	-	-

(4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第37条申請診査件数 平成28年中

申請別 区分	計	新規申請	継続申請	解除
申請件数	67	23	44	23
承認件数	67	23	44	23

イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く)

平成28年中

保険別 区分	計	被用者保険		国保	後高	生保
		本人	家族			
申請件数	56	15	5	10	25	1
承認件数	56	15	5	10	25	1

(5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成28年4月1日現在

氏名	役職名
北川良子	桑名西医療センター 内科部長
佐藤孝之	佐藤内科 院長
菅原望	いなべ総合病院 内科医長
加藤文枝	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
大橋真由美	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

(6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日(但し、5月11日は、第2第4木曜日)午後2時30分から午後3時 受付

(7) 結核対策特別促進事業

ア 目的

結核治療における服薬確認療法（DOTS）に取り組むにあたり、支援を行う機関・支援者を広げていくことを目指します。また、服薬確認療法が必要な患者に対し、療養や服薬への不安を減らし、服薬を完遂できるよう支援します。

イ 事業内容

1) 結核患者服薬支援（DOTS）

①薬局DOTS

日時：（初回説明）平成28年7月12日、（DOTS実施）7月20日、8月18日、9月28日

場所：しょうなん調剤薬局

参加者：しょうなん薬局薬剤師

対象者：働きながら通院治療を受けている結核患者1名

内容：患者が利用している薬局の薬剤師に月1回のDOTSを依頼。

服薬状況、受診状況、副作用の有無について薬剤師から保健所に報告を依頼。

②透析室DOTS

日時：（初回説明）平成28年6月1日（DOTS実施）6月2日～2月2日

場所：市立四日市病院透析室

参加者：透析室看護師

対象者：服薬中断歴のある透析治療中の結核患者1名

内容：患者が週3日利用している透析室の看護師に、直接服薬確認を依頼。

③医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市羽津医療センター】

日時：定例実施 毎月第1月曜日 午後3時～

場所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 結核担当看護師、外来看護師、薬剤師等
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師

対象者：四日市羽津医療センターに結核にて入院中及び退院後の患者

参加回数	10回
検討人数	15名（実・延）
入院患者	13名（実・延）
外来患者	2名（実）5名（延）

④コホート検討会

【四日市羽津医療センター】

日時：平成29年2月21日 13時30分～

場所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター（医師、看護師、薬剤師、MSW、栄養士）
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師6名

対象者：四日市羽津医療センターに退院後の治療終了患者

検討人数	17名
------	-----

⑤DOTS支援

平成28年度中

	病院・家庭等訪問	保健所内面接	電話	郵送
実人数	96	8	15	20
延人数	157	90	100	56

ウ 成果

今年度も、DOTS実施率・服薬完遂率向上を目標に、服薬支援に取り組みました。初回面接を丁寧に行うことにより、その方にあったDOTS方法を検討しながら実施しました。

服薬継続が難しいケースは、ケアマネージャーや生活保護ケースワーカーといった多岐にわたる関係者と患者の服薬完遂に向けて情報共有をしながらそれぞれの立場での見守体制をとるよう努め、服薬完遂することができました。

また、ケースに関わる関係者に呼び掛けて同行訪問をするなど、患者に関わる地域の関係者と協力して患者へのDOTSを進めていくことでより円滑に、服薬支援を実施することができました。

結核患者の高齢化、外国出身の結核患者の増加などから今後も様々な背景を持った患者への柔軟な支援が必要になると考えられます。

また、DOTSカンファレンスの開催により、医療機関等と保健所の連携強化を図るとともに、対象者に合った形でのDOTS方法を検討し、実施していくことに繋りました。